

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	幸手駅周辺における歩行空間の安全・安心の確保（防災・安全）													
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	幸手市													
計画の目標	幸手駅西口周辺住民と駅利用者の利便性・快適性・安全性の高い交通環境の改善を図るとともに、鉄道により分断された東西市街地の一体化を図る。 ・駅前広場の整備により、交通環境の改善を図り、幸手駅への利便性の向上を図る。 ・駅前広場の整備と合わせて東西自由通路整備を行うことにより、東西市街地の連携を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,753	A	2,753	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27末)		(H31末)
1	通勤時間帯（午前6時～午前9時及び午後6時～午後9時）に駅周辺踏切を渡る歩行者・自転車の数を1,601人・台から1,093人・台へ削減 踏切を渡る駅利用歩行者・自転車の数の削減 通勤時間帯（午前6時～午前9時及び午後6時～午後9時）に駅周辺踏切を渡る歩行者・自転車の数を計測する	1601人・台	人・台	1093人・台

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	幸手市	直接	幸手市	区画	改築	幸手駅西口地区（都）西 口停車場線（駅前広場）	区画整理 A=15.4ha	幸手市		■	■	■	■	237		-
	A01-002	街路	一般	幸手市	直接	幸手市	S街路	改築	（都）東西自由通路	L=0.13km	幸手市		■	■	■	■	2,516		-
											小計						2,753		
											合計						2,753		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
対象となる東武鉄道幸手駅周辺の2か所の踏切に職員を2名ずつ配置し計測を行った。	令和3年3月30日
	公表の方法
	市ホームページにて公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本計画で整備した駅前広場、東西自由通路が想定以上に活用されており、踏切を渡る駅利用歩行者・自転車の数は目標値より大きく削減することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	踏切を渡る駅利用歩行者・自転車の数の減少		
	最 終 目標値	1093人・台	本計画で整備した駅前広場、東西自由通路が想定以上に活用されたため、目標値以上に踏切を渡る人数が減少したと考える。
	最 終 実績値	599人・台	